

『けんちゃんとゲンゴロウ』



けんちゃん

(少しの間をおいて)

16

ゲンゴロウを守る、かっこいい大人になるって決めたんだ！

おじいちゃんみたいに。

おわり

作 うらたあい
絵 金末 忠則
解説 猪谷 信忠 (せら夢公園自然観察園)

企画・制作 J A尾道市
制作協力 御調町源五郎米研究会
世羅御調の自然史研究会

この紙芝居はJ Aバンク食農教育応援事業の助成を受けて製作しています。

本書の無断複写 (コピー) は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

作者プロフィール

うらたあい

1972年生まれ。福岡市出身。「アルプスの少女ハイジ」や「赤毛のアン」に憧れて育つ。ノートルダム清心女子大学児童学科卒業後、広島県三次市の山里(上田町)に単身で移住し、縁あって結婚・二児の母に。田舎資源デザイン研究所を主宰、主に感性からの環境教育デザインを担当。また、自然派シンガーソングライターとして活動中。上田小学校跡(廃校)を拠点とした「ほしはら山のがっこう」ふるさと自然体験部長。

金末忠則 (かねすえ ただのり)

1947年生まれ。広島県三次市上田町出身。田んぼや山で遊び、おばあさんの昔話をいろいろ端で聞いて育つ。日本デザイン学院卒業後、株式会社みずま工房・佐々木印刷株式会社にて主にグラフィックデザインを手がける。2002年退社後は、農業・地域づくり活動を行いながら、あたたかみのある絵を描くイラストレーターとして活動中。母校である上田小学校跡(廃校)を拠点とした「ほしはら山のがっこう」初代センター長 現在事務局長。

猪谷信忠 (いたに のぶただ)

1984年生まれ。高知県出身。山村でスイバやクワの実をおやつに、地鶏のエサやりに風呂焚き、廁の汲み取りの手伝いをした幼少時代を過ごす。現在、せら夢公園自然観察園(広島県)で、人と生きもの関係をつなぎ直す取り組みに奮闘中。